令和7年度　和歌山市立芦原小学校スクールプラン

和歌山市学校教育目標

〇確かな学力の育成
〇道徳教育の充実
〇健やかな体の育成
〇特別支援教育の推進
〇不登校・いじめ問題の解消
〇子どもの安全確保の徹底
〇地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

〇子どもの学力を定着させてほしい
〇明るく楽しい学校にしてほしい
〇相手の気持ちがわかる子どもに育ってほしい
〇地域に誇りをもってほしい

【学　校　教　育　目　標】

豊かな心をもち、自ら正しく判断して行動する子どもを育てる

【めざす児童（生徒）像】

- 心身ともにたくましい子
- 思いやりの心をもち、助け合い、努力する子
- 自ら考え最後までやりとげる子

前年度の学校評価

〇授業改善による主体的な学習の推進
　学びの楽しさを感じるよりよい授業づくりを
〇より学力の向上を望む
〇学校の様子が保護者・地域等によくわかるようになってきた
〇家庭・地域との連携の一層強化

児童（生徒）の実態

〇あいさつができる
〇時間を守って行動できる
〇最後まで粘り強く取り組む力が弱い
〇家庭学習の定着率がやや低い
〇基本的な生活習慣が確立できていない

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
重点目標	◎基礎・基本の確かな定着 ◎子供主体の授業の推進 ◎家庭学習の定着 ◎読書活動の推進 ◎複式学級授業の充実	◎道徳・人権教育の充実 ◎いじめの未然防止、早期発見 〇支持的風土のある仲間づくり	◎体力向上の推進 ◎基本的生活習慣の確立 〇危機回避能力の育成	◎家庭・地域との連携充実 ◎こども園・小の接続、中学校区における学校間連携の推進 〇地域の資源活用の推進
具体的な取組	〇学びのルールと粘り強く考える学習習慣の定着を図る 〇教員の授業力向上 〇「和歌山の授業づくり基礎・基本３か条」を徹底させた授業を行う 〇発達の段階に応じた家庭学習の手引きを作成し活用するとともに、保護者と協力しながら定着を図る 〇読み聞かせ、家庭読書、親子読書、図書室開放などを推進する 〇朝の読書を継続的に設け、読書習慣を身に付けることで、読解力や語彙力を高める 〇芦原タイム・芦っこタイム・放課後フォローアップの充実で、個に応じて基礎学力の定着を図る 〇自主学習の取り組みで、低学年から積み上げながら、学習の習慣化を図る	〇道徳科を核としながら、他教科領域との関連を生かした学習を行う 〇いじめアンケートを年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める 〇情報モラルやネット社会に潜む危険性について、保護者とともに学ぶ機会をもつ 〇児童会での縦割り班活動、学級会等で、子供同士が関わる機会を増やす 〇社会性を育む場を設定する	〇毎週月曜日に、全校で朝の運動を実施し、週に１回の運動を習慣化していき、体力の向上を図るとともに、朝から体を動かすことで脳を活性化させ、学習への効果を高めていく 〇大休憩、昼休憩に運動場での遊びの推奨 〇「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する 〇携帯電話・スマートフォン・SNS等の安全な利用について、指導を促進する 〇避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する	〇各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する 〇地域活動へ参加し、積極的な交流を推進し、多様な生き方を学ぶ 〇こども園・小の接続、中学校区での小小、の連携を推進･充実する 〇授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、クラブ講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する
指標	・県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る ・わかる授業、子供主体の授業を実践したと思う（児童・教師90%） ・研究授業一人1実践以上実施	・学校が楽しいと感じる（児童90%） ・「心のとびら」の活用100% ・いじめの解消率100%	・朝ごはんを食べた（児童95%） ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した（教師90%） ・ネットを利用した時間が短くなった（児童90%）	・学校の様子がよく伝わった（保護者90%） ・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた（教師90%）

◎・・・特に重点的に取り組むこと